

1 はじめに

資料整理部会は、土人形収集家の秋吉元氏から九博に寄贈された日本や世界各地の郷土人形・玩具約13,000点の調査・整理を目的として、平成20年4月に発足し、平成20～22年度は、第1期・第2期ボランティアにより策定された分類基準・調書作成マニュアルに基づき、調査・整理作業を進めてきた。

平成23～25年度は、第2期・第3期ボランティアが協力して、分類基準・調書作成マニュアルに従って調査・整理作業を進めている。併せて、作業の効率化と調書の統一性向上・データベース化の推進を図るために作業基準を改善し、あじぎやらでの「より良い展示」を目標に、部会全員で意見交換しながら活動している。

2 部会の紹介

部員数	19名
活動日	毎週水曜日 午前の部：10:00～12:20 午後の部：13:40～16:00
場 所	平成23年度まで：2階 作業室 平成24年度～：1階 研修室（和室）

3 活動内容

(1) 調書の作成

個々の人形に付与された個体番号ごとに人形の観察・クリーニングを行い、素材・テーマ別に分類し、寸法・特徴・保存状態などを調書に記入し、写真を撮影する。

部会の最も基本的な活動である。

現在、約7,200件が終了している。



[調書作成作業]

- ① 2期の「作業マニュアル」を継承・改善した。
- ② 2期の設定した統一基準を継承・改善した。
 - i 調書の書式を継承
 - ii 保存状態の基準を継承 … 資料名「保存状態のランクづけ表」
 - iii 人形のテーマ分類を継承・改善 … 資料名「分類表」・「分類の構造」
 - iv 「調書記入マニュアル」を継承 … 資料名「調書記入マニュアル」
 - v パソコンに保存する人形映像の撮影方法の改善

③ 効率化

作業の効率化・簡素化のための補助資料を継承・改善した。

- i 人形産地の住所 … 資料名「人形の産地」の町村合併等による変更に応じて更新、郵便番号簿等を併用すること
- ii 暦年と干支の対照表 … 資料名「日本の年号・十二支・西暦年号」を継承
- iii 土人形の作者・産地早見表 … 資料名「作者-産地名称 対照表」を継承

④ 調書の見直し

通常の調査作業と並行して、「調書記入マニュアル」「分類表」「分類の構造」等の改善に伴い、今までに作成された調書を見直し、分類・テーマ・他各項目の表記の統一を図り、データの正確性も高めている。

(2) データの活用（データベース化）

パソコンを使用してデータの電子化を継続し、一覧リスト形式のデータベース作成を継続。

「調書記入マニュアル」・「分類表」等の改訂に伴い、調書の見直しと同様に、入力されたデータを見直し、統一性・正確性の向上に努めている。

現在、約7,000件のデータベース化が終了している。

(3) 人形の展示

調書作成済みの人形を年に3～4回テーマを決めて「あじぎやら」で展示している。多くの来館者に見てもらうため、新たに案内板を設置するようになった。

平成23年度までは壁付展示ブースのみの展示だったが、平成24年度からは年に1～2回ではあるが、「あじぎやら」全体で人形を展示できるようになった。



【「天神さまとうそ」の展示替え】



【「あじぎやら」全景】

① 展示実績

平成23年度 「中国の人形」

「各地の郷土人形」

平成24年度 「武者人形」…「端午の節句」にあわせて

「にらめっこ」…「にらめっこ展」にあわせて

「古事記」…「文化交流展示室・トピック展示」にあわせて

「相撲」「干支人形（巳）」「お正月」…九州場所とお正月

「針聞書」…「ようこそ！はらのなかのはらっぱへ」にあわせて

平成25年度 「世界の動物」…「やきもの動物園」にあわせて

「天神さまとうそ」「干支人形(午)」…「国宝 大神社展」にあわせて

「針聞書」…「ようこそ!はらのなかのはらっぱへ」にあわせて

② 展示の改善

「特別展」「トピック展示」「あじぎやら」「季節の行事」などに関連したテーマを選び、部会全員で人形を厳選し「テーマに合せた」「本当に良い物」を「見やすく」展示することを目指して改善した。

③ キャプションの作成

正確・簡潔を第一とし、データベース・調書から引用し、効率化を図った。

4 研修

(1) 館内研修

平成23年度	「調書作成について」	[講師：安元保真氏]
	「菅原道真の実像」	[講師：清原倫子氏]
平成24年度	「入力データの整理」	[講師：飯野昭夫氏]
	「マニュアルの改訂」	[講師：安元保真氏]
平成25年度	「調書のチェック」	[講師：杉 良子氏]
	「虫菌害の対処」	[講師：(株)タクト 江口みどり氏]
	「分類表の改訂と追加」	[講師：安元保真氏]

(2) 館外研修

平成23年度	野古見人形工房見学
平成24年度	烏山民族資料館・土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム見学
平成25年度	佐藤人形堂(猿面工房)・伊都国歴史博物館・桜井神社見学



[佐藤人形堂(猿面絵付け工房)にて]



[三雲南小路遺跡にて]

5 イベント参加

平成24年	「九博祭り」	九博めんこ彩色体験
平成24年	「子どもフェスタ」	九博めんこ彩色体験
平成25年	「子どもフェスタ」	だるま彩色体験
		郷土人形フォトギャラリー

6 3期の総括と4期への準備

1期・2期ボランティアが策定した調書書式・分類表・マニュアル等を継承しながら、更に改訂・改善を重ね、調書の統一性・正確性の推進・作業の効率化・展示の改善に努めるとともに、データベース化のための基礎データ作成を推進して来た。

これらを踏まえて、4期ボランティアへスムーズに引き継ぐべく準備を進めている。

また、平成25年度からは、日本製郷土人形・玩具の他に、世界各国の人形・玩具が比重を高めてきた。これらは、資料が少なく、産地（国名）特定もままならないものも多数あり、調査は困難だが、できるだけ資料を探して調書を作成し、機会ある度に外国製人形・玩具も積極的に展示していきたい。

7 おわりに

郷土人形・玩具はそれぞれの歴史・風土に育まれてきたもので、貴重な文化遺産として後世に伝えていくことが重要である。よって、あじぎやらでの展示以外にもフォトギャラリー・データベースなどを通じて「秋吉コレクション」をアピールしたい。

最後になりましたが、大変残念ながら3期ボランティアは、秋吉元氏から直接ご指導いただく機会はありませんでしたが、交流課の池内一誠氏をはじめ「あじぎやら」担当の方々には多岐にわたり助言とご協力をいただきました。

2期ボランティアの先輩方には、右も左も解らない私たち3期ボランティアをここまでご指導いただきました。皆様に心から感謝いたします。